

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
小児がん患者に対する在宅医療の実態とあり方に関する研究
分担研究報告書

「病院・自宅以外での小児がん患者の看取りに関するアンケート調査」

研究分担者 倉田 敬 長野県立こども病院 血液腫瘍科 副部長
古賀 友紀 九州大学病院 小児科 准教授
瀧田 裕子 九州大学医学研究院 准教授

研究要旨

小児がん患者の終末期医療においては、小児がん患者が終末期を自宅で家族と過ごすことが最善と考えられている。しかし患者を取り巻く状況により在宅医療への移行が困難な症例が存在し、病院での看取りを余儀なくされる場合が多い。また各地域ならではの地域性や地理的な条件が在宅医療を拒む場合もある。そのような状況を踏まえて緩和病棟内に小児専用病室を開設する、病棟内に患者が患者家族と生活できる病室を開設するなど、在宅医療への移行が困難な症例に対する取り組みがみられる。本アンケート調査は、治療病床、自宅以外での小児がん患者の看取りに関する各病院・地域での取り組みについての情報を収集することを目的とする。小児悪性腫瘍患者の看取りの場所の現状を明らかにし、終末期の患者と家族に様々な選択肢があることを提案したい。

A. 研究目的

治療病床、自宅以外での小児がん患者の看取りに関する各病院・地域での取り組みについての情報を収集することを目的とする。

B. 研究方法

小児がん拠点病院と小児がん連携病院にアンケート調査を行い、小児がん患者における病院・自宅以外の看取り場所の現状を把握し、抽出した課題をまとめ、治療病床以外での看取りの取り組みについての提案を行う。アンケートは個人情報の収集を目的とせず、研究対象者の不利益は発生しない。

C. 研究結果

アンケートは作成済で、令和2年3月に発送済

D. 考察

アンケート集計後

E. 結論

アンケート集計後

F. 健康危険情報

特記事項なし

G. 研究発表

1. 論文発表

アンケート集計後

2. 学会発表

アンケート集計後

(発表誌名巻号・頁・発行年等も記入)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)